

Aさんへ

ラジオネームもも

本当は、今でも信じていません。いや、信じられる訳

ないじゃないですか、先輩が天国に旅立ったなんて・・・

大学を卒業して20数年。大学時代に毎日のように時間を過ごしていたサークルのメンバーとは年賀状のやり取りをするくらい。

まして、年に一度届くサークルの会報誌に目を通すことも、

ここ数年していませんでした。珍しく、去年11月に届いた

会報誌をペラペラめくっていたら、Aさんの名前。

よりによって、訃報欄に！

「えー」と思わず声が漏れて、僅か2行の記事を何度見返したことが。

Aさんは私が入学した時の3年生。新入生の教育担当のような

存在でした。中でも私たちはAさんをはじめ、4人の先輩方とは

ご飯を食べたり、おしゃべりしたりと、一番長く時間を過ごしましたね。

お決まりの言葉を言いあっては笑って、今ふりかえると、なぜあんなに

可笑しかったのか、「箸が転んでもおかしい年頃」というだけでは

ない連帯感のようなものがありませんでした。

普段はひょうひょうとしているのに、絶妙なタイミングでボソッと

わわやくAさんには、一同、お笑い芸人のライブを見ているように

笑わせてもらいました。

時はバブル景気真ただ中。お金のない学生たちでしたが、唯一自宅生のAさんの愛車に乗って、夜中にドライブがてら、環八沿いのとんこつラーメン屋さんに出掛けて、

禁断の夜ラーメンを楽しんだり、当時人気・実力共にナンバー1だったF1のイルトン・セナの映像に熱狂したり…思い出は尽きません。

昨年末に、奥様から欠礼ハガキが届いても、年始には例年通りAさんから年賀状が届くのではないかと、待っていました。

天国からの郵便配達はないようですね…。

今でも、私はどこかでふらっとAさんが現れるのではないかと期待しています。天国で、ふっ、と一笑に付してくださいね。

※最後に、Aさんの大好きだったF1のテーマ曲を贈ります。

リクエスト曲

へ トウルース / T・スクエア へ